

はじめに

近年、児童生徒の覚せい剤等の薬物乱用に関する状況は、補導件数の増加や低年齢化など、極めて憂慮すべき事態となっています。特に、薬物等に対する好奇心や仲間意識といった軽い気持ちから安易に乱用を始めるケースが目立っています。こうした状況をなくしていくためには、学校・家庭・地域社会が一体となって、児童生徒一人一人が薬物等乱用と健康との関わりについて、早い時期から認識し、自ら健康を害する行為をしないという態度を身に付けるように、その取組を進めていくことが必要です。とりわけ、学校（小・中・高等学校）においては、教師が真に薬物等の汚染状況に対して危機感を持つとともに、教育活動全体を通して課題解決のための取組を行うことが急務となっております。

福岡県における薬物等乱用防止教育については、県教育委員会が行った調査によると、小・中・高等学校のほとんどの学校で実施されています。その際、指導する教師のニーズとして挙がっていることは、薬物等乱用防止にかかる教材等が豊富にあれば今以上に指導が充実する等です。

このため、本県では、平成10年度に関係機関から構成される福岡県薬物乱用防止教育支援体制推進委員会を組織し、薬物等乱用防止教育の推進を図っているところです。この取組の一環として、新しい指導方法等の研究開発を行い、この度、体験的学習を取り入れた指導法の実践事例集を本年度末に発刊することとしています。

このような状況を踏まえ、福岡県教育センターとしても、薬物等乱用防止教育の指導に役立つ学習プログラムを提供することが必要であると考え、本研究紀要を作成いたしました。この学習プログラムは、学級活動・ホームルーム活動の時間と朝の会・帰りの会等の短い時間を使って、効果的にライフスキルを育成することができるよう構成しています。

今後、福岡県教育委員会が発刊いたします薬物等乱用防止教育実践事例集と併せて活用いただくことにより、学習効果が一層上がるものと確信いたします。

本研究紀要が、すべての教職員の共通理解のもと、薬物等乱用防止教育を行うための指導資料として活用され、シンナーや覚せい剤等の薬物乱用を決して行わない児童生徒の育成の一助となることを心から願うものです。

終わりに、発刊に当たり御協力いただきました関係各位に対し、心からお礼申し上げます。

平成13年2月

福岡県教育センター
所長 森山 良一

目 次

活用に当たって	2
活用の仕方：ショートの時間	4
活用の仕方：学級活動・ホームルーム活動	5

薬物等乱用防止学習プログラム

小学校高学年編	6
① 家庭との連携：保護者への協力依頼	7
② ショートの時間：薬物乱用ってなに？	9
③ ショートの時間：たばこにはどんな害があるの？	11
④ ショートの時間：シンナーにはどんな害があるの？	13
⑤ ショートの時間：覚せい剤にはどんな害があるの？	15
⑥ ショートの時間：覚せい剤を乱用するとどうなってしまうの？	17
⑦ ショートの時間：乱用のきっかけは？	19
⑧ 学級活動：悪い誘いをきっぱり断ろう	21
⑨ ショートの時間：薬物等乱用防止学習のまとめを書こう	23
中学校編	24
① 家庭との連携：保護者への協力依頼	25
② ショートの時間：学習を始めるに当たって	27
③ ショートの時間：覚せい剤乱用による身体への害	29
④ ショートの時間：覚せい剤乱用による精神への害	31
⑤ ショートの時間：覚せい剤乱用の悪循環	33
⑥ ショートの時間：薬物乱用への甘い誘い	35
⑦-A 学級活動：断り方をマスターしよう	37
⑦-B 学級活動：断る練習をしよう	39
⑦-C 学級活動：だまされないできっぱり断ろう	41
⑧ ショートの時間：薬物等乱用防止のための標語をつくろう	43
高等学校編	44
① 家庭との連携：保護者への協力依頼	45
② ショートの時間：学習を始めるに当たって	47
③ ショートの時間：薬物乱用の悪循環についてまとめよう	49
④-A ホームルーム活動：研究発表をしよう	51
④-B ホームルーム活動：クラス宣言をしよう	53
④-C ホームルーム活動：誘いを断ち切ろう	55
⑤ ショートの時間：薬物等乱用防止のための標語をつくろう	57
授業の効果をより高める学習活動例	58
フィールドワーク ブレインストーミング ケーススタディ ロールプレイング	

活用に当たって

【薬物等乱用防止教育】

全国的に、青少年の喫煙、飲酒、シンナー乱用、覚せい剤乱用の実態が数多く報告されている今、薬物等乱用防止教育のさらなる充実が求められています。

本冊子は、薬物等を乱用しないという強い**意志力**を持った児童生徒の育成を目指し、学校において薬物等乱用防止教育の指導に役立つ学習プログラムです。この学習プログラムを活用することにより、**意志力**を高める学習指導を行うことができます。

ここでは、薬物等乱用防止に必要な**意志力**を次のようにとらえています。

「薬物は絶対に乱用すべきではないし許されることではない」という思いのもとに「薬物を絶対に乱用しない」という決意をもち、行動につなぐことができる力

【知識＋情意・行動】

意志力を育成する指導に当たっては、以下のようなねらいをもとに学習します。

知 識	薬物等に関する正しい知識を身に付ける 薬物等の具体的な害を理解する 薬物等が人生に与える影響を理解する	主に ショート的时间 を活用して
情意・行動	確かな規範意識を身に付ける 適切な自己主張能力を身に付ける 社会人としての判断力を身に付ける	主に 学級活動・ ホームルーム活動 を活用して

【ショート的时间】

薬物等乱用防止についての**知識**を身に付けさせるためには、短い時間を継続的に積み上げながら指導を行うことが効果的です。そこで、毎日15分程度行われている朝の会や帰りの会の時間を活用します。この時間を**ショート的时间**と題し、短い時間で行える教師の講話、ワークシートなどをもとに指導を行います。

【学級活動・ホームルーム活動】

薬物等乱用防止についての**情意・行動**を身に付けさせるためには、ロールプレイングなどの体験的な活動を取り入れ、自己の意志決定を促す指導を行うことが必要です。そこで、指導場面として、心身ともに健康で安全な生活態度の形成に資する活動を展開し、自己の意志決定を促すことができる**学級活動・ホームルーム活動**の時間を活用します。

【ショート的时间と学級活動・ホームルーム活動との連携】

指導に当たっては、**知識**を身に付けさせる学習と**情意・行動**を身に付けさせる学習を単独で別々に行っていたのでは十分な効果が上がりません。つまり、薬物等乱用防止教育においては、**知識**と**情意・行動**のバランスのとれた指導が必要です。そこで、一定の期間をかけて継続的に**ショート的时间**と**学級活動・ホームルーム活動**を連携させながら学習を行います。このことにより、薬物を絶対に乱用しないという決意を行動に結びつけることができる（**意志力**を持った）児童生徒を育成することができます。

【基本的な学習活動】

指導に当たっては、**ショート**の時間と**学級活動・ホームルーム活動**を組み合わせながら以下に示す活動を中心に学習していきます。それぞれの活動ごとに、教師の説明例、指導上の留意点やアドバイス、児童生徒に配布する学習プリントをまとめています。このため、教師に大きな負担がかからずに活用できる学習プログラムとなっています。

これらの活動は、児童生徒の発達段階や実態に合わせ、それぞれの学習内容を取捨選択し、付加修正することが可能であり、より効果的で効率的な指導を行うことができます。

課題意識を持つ活動
○ 薬物等乱用の実態、知識や情意・行動に関する自分の現状を把握する活動等を通して、薬物等乱用防止を自分自身の問題としてとらえる。
知識を身に付ける活動
○ 説明を聞いたり、学習プリントを使って演習したりする活動を通して、薬物等乱用防止についての知識を身に付ける。
意志決定をする活動
○ 望ましい意志決定をすることができる体験的な活動を通して、学んできた知識をもとに、薬物等を乱用しないという意志力を身に付ける。 (実施においては、学級の実態に合わせ、学級活動・ホームルーム活動例の中から活動を選択して学習を行う。)
○ 課題意識を持ちながら主体的に意志決定を行うとともに、自らの意志決定の内容や理由を振り返りよりよいものへと高めていく。
学級活動・ホームルーム活動における学習の基本的な流れ
(1) 情意・行動についての課題意識を持つ (2) 薬物等乱用防止に関わる対処方法を考える (3) 自分の判断で意志決定をする (4) 自分の意志決定の内容や理由を振り返る (5) 学んだことを生活の中で実践しようとする
意志決定を確かなものにする活動
○ 保護者とともに学習内容を振り返ったり、自分の意志決定の内容や理由について話し合ったりすることを通して、意志決定を確かなものにする。
学んだことを表現する活動
○ これまでの学習内容や意志決定を表現する活動を通して、薬物等を乱用しない意志を明確に自覚する。

(※ 以下、それぞれの学習プログラムにおいて、「ショート」の時間を「ショート」と表記する。)

活用の仕方：ショート時間の時間

ショート時間の時間における学習のねらいを記述しています。

小学校編、中学校編、高等学校編のそれぞれの学習プログラムにおける通し番号を表示しています。原則としてこの順序通りに学習を進めることをおすすめします。ただし、学校や児童生徒の実態等に合わせて、削除したり順番を変更したりすることが可能です。

ショート時間の時間のタイトルです。

④ ショート：シンナーにはどんな害があるの？

ねらい シンナー乱用による身体や精神への害について正しい知識を身に付けさせるとともにシンナー乱用の恐ろしさを認識させる。

シンナーは、水に溶けにくい物質をよく溶かす目的でつくられた「有機溶剤」といいます。このシンナーを乱用する青少年がたくさんいます。シンナーの気体を吸うと一時的に現実のいやなことを忘れて、夢を覚えているような気持ちを感じたりすると言われますが、実は、身体や精神にとって恐ろしい害がたくさんある危険な薬物です。

写真を見ましょう。左が健康な人の脳、右がシンナーを乱用している人の脳の断面写真です。どんなところが違うでしょうか。
※ 何人かに気付いたことを発表させましょう。

シンナーを乱用している人の脳は、たくさんのすき間ができてしまっています。シンナーは、人間の脳の神経細胞の一部を溶かし、脳にすき間を作ってその働きをだめにしてしまいます。その結果、どのようなことが起きるのでしょうか。プリントに書いてある渦巻きの図形を見ましょう。
左は、健康な人、右は、シンナー乱用者がいた渦巻きの図形です。
※ 見比べた感想を発表させましょう。

このように、シンナーを乱用すると、健康な人が普段何気なくできていることが自分の意志や力でできなくなってしまいます。シンナーの害は、こればかりではありません。シンナーの気体をたくさん吸い込むとふらふらしたり興奮したりするようになります。これを続けていくと、目が見えなくなったり耳が聞こえなくなったりするとともに、正しい判断ができなくなってしまう。人間の脳の細胞は、一度破壊されると決して新しく作られることがなく、元に戻ることはありません。また、シンナーを飲んだり吸ったりして、身体の中に急にたくさん取り込むと死亡することもあります。

	【吸ってすぐに現れる害】	【繰り返し吸っていると現れる害】
身体	<ul style="list-style-type: none"> ふらふらになる 呼吸がまひする ※ 場合によっては死ぬことがある 	<ul style="list-style-type: none"> 気管支炎になる 手足がしびれ、筋肉が縮む 視力が低下する めまいや息切れがする 肝臓の働きが低下する 脳の働きが低下する
精神	<ul style="list-style-type: none"> 見えるはずのないものが見える 聞こえるはずのない音が聞こえる 	<ul style="list-style-type: none"> いらいらする 落ち着きがなくなる

他にも様々な害があります。このように、シンナーの乱用は、人の身体や精神に大変多くの害を与えます。

○ 一度でもシンナーを乱用すると、害を与えられた脳は元どおりに戻ることがありません。取り返しがつかなくなることを特に強調しましょう。

○ シンナー乱用防止教育用教材として、「地域保健推進特別事業（シンナー乱用防止教育用教材開発事業）報告書」が各市町村教育委員会に配布されています。実践を中心とした様々な情報がCD-ROMにて提供されていますので、各市町村教育委員会にお問い合わせの上、御活用ください。

④ ショート：シンナーにはどんな害があるの？

脳をもとから恐ろしいシンナー

健康な人の脳 シンナー乱用者の脳

健康な人 シンナー乱用者

気付いたこと

感想を書きましょう。

(家庭でもシンナーの恐ろしさについて話し合ってみましょう。)

※印がついた明朝体の部分は、ショートの実施にあたっての指導上の留意点やその他のアイデア等を記述しています。

ゴシック体の部分は、教師が児童生徒へ指導する際の説明例、発問例等を記述しています。原則としてここに書かれている文章をそのまま読んで聞かせるとねらいを達成できるように作成しています。

このページは、学習プリントとしてそのまま印刷して配布します。原則として、教師の説明を聞きながら児童生徒が自分で読み進めることができるようになっています。中には演習を取り入れ、活動型となっているプリントもあります。

参考資料やコラム等を記述しています。

各学習プリントには感想を書く欄を設けています。学習後には必ず感想を書く時間を確保します。また、学習した後、家庭に持ち帰り、家族と話し合った感想を書かせるとさらに効果的です。

※ この学習プログラムの文書ファイルは、インターネットのホームページよりダウンロードすることができます。(http://www.educ.pref.fukuoka.jp/)

どうぞ御自由に活用してください。

活用の仕方：学級活動・ホームルーム活動

ショート时间及び学級活動・ホームルーム活動で構成されたこの学習プログラムの通し番号です。

中学校編、高等学校編においては、学級活動・ホームルーム活動の選択肢をA～Cで分類しています。生徒の実態に合わせて、学級活動・ホームルーム活動を選んで実施することができます。「② ショート：学習を始めるに当たって」に、選択の際の基本的な考え方を示しています。

学級活動・ホームルーム活動のタイトルです。

⑦-B 学級活動：断る練習をしよう

ねらい 既習事項をもとに、様々な断り方を十分に練習させることを通して、薬物乱用への誘いを断るために必要な方法を身に付けさせる。

1 様々な断り方を実際に練習するという学習のめあてをつかむ
 ⑧ ショート：薬物乱用への誘い（誘い）を振り返しましょう。
 ※ 実際にどんな言葉で覚せい剤乱用を誘われることが多いのか、いくつかの具体例を示しましょう。

「面白いことがあるんだけど。」	「みんなやってるよ。」
「やせられるよ。」	「やってないのは君だけだよ。」
「いらぬがとれてすっきりするよ。」	「ただの栄養剤だよ。」
「気がとれて勉強ができるよ。」	「1回だけなら平気さ。」

2 ロールプレイングを通して断り方を考える
 覚せい剤乱用を誘う人（教師が演じる）、覚せい剤を誘われる人になってロールプレイングをしましょう。あなたはどうかやって断りますが、

(以下のような例を示しておくといでしょう)

友人A： いいものがあるんだ。
 わたし： なんだよそれ。
 友人B： すーっとして、とても気持ちよくなるんだよ。
 友人A： おまえも試してみないか。
 わたし： いやだよ。それって覚せい剤だろう。
 友人B： 一回だけなら大丈夫だって。一緒にやってみようよ。
 友人A： 勇気があるなら一緒にやろうぜ。
 わたし： _____

※ 学級活動⑦-AとBを続けて行う場合は、⑦-Aで学習した時の自分の断り方を使ってロールプレイングをさせましょう。また、⑦-Bのみで学習する場合は、教師がいくつかの断り方の例を示しておくといでしょう。

3 断る練習をする
 2人組やグループで実際に断る練習をしましょう。
 そして、お互いの断り方を評価し合います。

※ 友人からの誘いや、街頭での誘いや、具体的な場面を想定してロールプレイングを行わせましょう。その際、薬物乱用を誘う役を教師や保護者が担当しましょう。(生徒には誘う役をさせないようにしましょう。)

4 お互いの断り方について話し合い、断るときの気持ちや行動を振り返る
 お互いの発表を聞いて断るときの気持ちや行動を評価し合い、学習プリントに感想を書きましょう。


5 評価をもとに自己の意志決定を行い、本時の学習をまとめる

○ 意志決定を行ったときの心情や決定した理由を出し合うことが大切です。
 ○ 本時のまとめは、家庭で保護者と話し合った感想も含めて書かせましょう。

⑦-B 学級活動：断る練習をしよう

薬物をすすめられたときのロールプレイングをしてみましょう。

(ロールプレイングの台本例)
 友人A： いいものがあるんだ。
 わたし： なんだよそれ。
 友人B： すーっとして、とても気持ちよくなるんだよ。
 友人A： おまえも試してみないか。
 わたし： いやだよ。それって覚せい剤だろう。
 友人B： 一回だけなら大丈夫だって。一緒にやってみようよ。
 友人A： 勇気があるなら一緒にやろうぜ。
 わたし： _____



断る練習をしてお互いを評価し合います。

○ 断る内容について

○ 声の調子について

○ 断るときの態度について

評価をもとに自己の意志決定をまとめましょう。

参考資料やコラム等を載せています。

数字で示した文は、学級活動・ホームルーム活動における学習活動を表しています。

学習の展開に必要な資料や発問、児童生徒の考えられる反応等を載せています。
 また、※印は指導上の留意点を示しています。

このページは、「ショート的时间」と同様にそのまま印刷して配布します。
 児童生徒の学習活動の展開に合わせて書き込みをすることができる等、学習プリントとして活用できるようになっています。

※ 薬物等乱用防止学習についての指導の方法には、いくつか代表的なものが挙げられます。学習プログラムの中に出てくるブレインストーミングやロールプレイング等については、巻末にて説明しています。様々な指導方法を効果的に活用し、より深まりのある学習となるよう工夫しましょう。